

第40回政府現地対策本部会議 第45回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年7月12日(火) 16:30～

場所 県庁新館8階 職員研修室

1 被害の状況

詳細は後ほど気象台から説明があるが、本日夜から明日午前中にかけて、非常に激しい雨が降ると予想される。

これをうけ、本日の14時30分から庁内関係各課が集まり、情報連絡会議を開催。関係機関への注意喚起及び厳重な警戒をお願いしたところ。

(1) 被害の状況

- ・死者75名
- ・熊本地震による重軽症者数1,887名

(2) 住家被害

- ・熊本地震による住家被害は156,653棟

(3) 避難の状況

- ・20市町村で161の避難所において4,760名の避難者

(4) 避難指示等の発令状況

- ・避難指示3市町村、避難勧告8市町村で発令中(内、2市町村は避難指示も発令)

(5) 罹災証明の状況

- ・受付件数が36市町村で、163,125件
- ・2次調査の依頼件数が28市町村で、34,901件
- ・交付件数が36市町村で、130,593件

2 県等の対応状況

(総務部)

被災市町村への人的支援状況について

これまで、職員派遣については短期派遣で、公務出張として派遣をいただいているが、7月以降は中長期の派遣ということで、地方自治法に基づき派遣をいただいている状況。

現時点全国から中長期派遣として62名の派遣をしていただいている。今後、短期派遣から中長期での派遣ということで進めていくことになるため、その点を報告させていただく。

(健康福祉部)

- ・仮設住宅への対応について

建設着手が3,618戸、うち工事完了しているものは1,403戸

- ・義援金の状況について
328億円以上の申し込みがあっている

(環境生活部)

- ・廃棄物の処理状況について
7月8日に開催した説明会の内容を記載している。
- ・水道施設の被害状況について
美里町・甲佐町は復旧。南阿蘇村は土砂災害による断水が継続中。

(農林水産部)

- ・大雨に係る被害額（第2報）について
前回は154億円の被害であったのが、318億円となっている。
これは、地震の影響による大雨被害の増大が原因となっている。県としては、被災市町村への支援体制の構築を現在行っているところ。

(土木部)

- ・6月下旬の大雨被害に関する被害状況報告
公共土木関係については、合計で1,976件、約205億円。
県工事・市町村工事関係については、それぞれ100億円ずつの被害。
工種別では河川、道路の被害が大きい。
地域ごとでは、上益城、宇城、阿蘇管内が大雨による被害が大きい。
市町村単位では、御船、山都、美里、宇城市において被害が拡大している。
現時点では被害額は調査中であるため、被害額については今後も動くと思われる。

3 国等の対応状況

(気象庁)

- ・地震回数は10回以下と、少ない回数で推移している。
- ・7月9日に余震が10回発生。また、9日に震度4が1回、7日、9日、11日に震度3をそれぞれ1回観測。それ以外は震度2以下の地震。
- ・地震の活動は低下しているが、日頃からの地震に対する備え、注意喚起をお願いする。
- ・7月11日に地震調査委員会が開催され、新たな評価が出ている。
一連の地震活動は、減衰傾向がみられる。6月に入り、震度4、震度3の地震は少なくなってきた。熊本県熊本地方及び熊本県阿蘇地方では引き続き余震活動が続くが、これらの地域においても、M5程度、最大震度5強程度の余震が発生する可能性は低下したと思われる。

・天気について

今日の夜から明日にかけて、まとまった雨が降ると予想。予想雨量は球磨地域で 200 ミリ程度。

梅雨前線は現在対馬海峡付近に停滞しているが、12 日夜から次第に南下し、明日には九州北岸まで到達する。このため、前線の南側には温かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定になる。

予想では、本日夜に多い所で 50 ミリ、明日は多い所で 80 ミリの降雨を予想。

本日 18 時から明日 18 時までの降雨量は、多いところで 400 ミリを予想。

土砂災害には十分に注意を。

4 政府現地対策本部の発言

(内閣府・緒方審議官)

梅雨前線につきましても、いったん北上しましたがまた南下してきて、大雨ということになってきている。

また、今晚からも大雨が降ると予想されている。対応をお願いしたい。

今週に入り、発災から 3 カ月が経ったところ。

改めて、お亡くなりになった方々に対しては、改めて心からご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された方々に対しては、お見舞いを申し上げたいと思う。

また、県の職員の皆様や市町村の職員の皆様、そして国の関係機関や、多くの関係各方面に皆様におかれても、非常に御苦勞をされている日々が続いていると思う。改めて敬意と感謝を申し上げたいと思う。

今月に入り、仮設住宅も次々に建てられており、入居も進んできている。

また、本日は気象台のほうから新しい震災に関する評価がでたということで、内容の発表があった。

避難されている皆様におかれては、1 日でも早く、日常を取り戻すことができるよう、国としても精一杯支援していきたいと考えている。

よろしく申し上げます。

5 県災害対策本部の発言

(坂本知事公室長)

先ほどの御説明のとおり、国の地震調査委員会において、「熊本地方及び阿蘇地方では、最大震度 5 強程度の余震が発生する可能性は低下した」との評価が発表された。

最近は、余震の回数等も減少傾向にあるが、引き続き地震への備えをお願いしたい。

現在、県内では 7 市町に土砂災害警戒情報が発表されている。さらに、今夜から明日にかけて、非常に強い雨が予測されている。

ここ数日は、特に大きな被害は発生していないが、これまでの地震や累積雨量を考

えると、どこで土砂崩れや堤防の決壊が発生してもおかしくない。一人の犠牲者も出さないよう、各部長は関係団体と連携し、予防的避難の呼びかけや、道路、河川、ダム等の安全確保など、万全の対応をお願いしたい。

最後に、マスコミの皆さんにもお願いしたい。今夜の大雨に備え、予防的避難を繰り返し呼びかけていただくとともに、気象情報を適時適切に伝えていただくようお願いしたい。

(以 上)